

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月12日

高知県知事 濱田 省司 殿



提出者

住所 高知県吾川郡いの町4972番地1
有限会社 森木組

氏名 代表取締役 森木 正一
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 088-892-3609

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

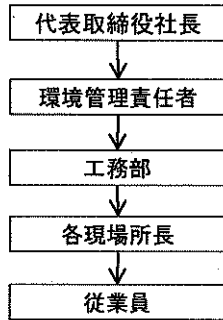
事業場の名称	高知県内の各現場（高知市以外）
事業場の所在地	高知県内一円（高知市以外）
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	建設業
②事業の規模	建設業：令和6年度実績 完成工事高 533,783,000円
③従業員数	24名（令和7年4月末現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・建設工事で発生したがれき類は、収集運搬業者及び再生処理業者（破砕）に委託し、再生砕石として再資源化されます。・建設工事発生した木くず類、収集運搬業者及び再生処理業者（破砕）に委託し燃料用チップとして再資源化されます。・建設工事で発生した建設混合廃棄物（金属くず、廃プラスチック類、紙くずの混合物）収集運搬業者及び処分業者に委託します。その他の産業廃棄物は処分業者（焼却、埋立）で最終処分されます。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラ	がれき類	廃石膏ボード
	排出量	146.05t	12.1t	7.65t	1.64t
	産業廃棄物の種類	金属くず	珪酸カルシウム	紙くず	混廃
	排出量	5.66t	0.4t	0.84t	2.98t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス・コンクリートくず		
	排出量	0.37t	3045.23t		
(これまでに実施した取組)					
・従業員を対象に廃棄物に発生抑制に係る教育を行なっています。 ・建設資材の長期使用、修理等を行ない、廃棄物の排出を抑制しています。 ・施工段階に於いて廃棄物の発生の少ない工法を選択し施工している。					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラ	がれき類	廃石膏ボード
	排出量	140t	10t	7t	1t
	産業廃棄物の種類	金属くず	珪酸カルシウム	紙くず	混廃
	排出量	5t	1t	1t	2t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	ガラス・コンクリートくず		
	排出量	1t	3t		
(今後実施する予定の取組)					
・現状の取り組みのとおり今年も実施予定					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・従業員が排出する生活系ゴミ(弁当、ペットボトル等)は、一般廃棄物として持ち帰るよう、分別に係る教育を行なっています。 ・がれき類、木くずは再資源化率が高いため、他と混入しないよう優先的に分別していきます。 ・金属くず及びプラスチック類は保管容器で種類ごとの分別を徹底し分別できないものは混合廃棄物として処理していきます。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状の取り組みのとおり今年度も実施予定

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・実績無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・取組は特になし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・取組は特になし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組) ・実績無し						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組) ・取組は特になし						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（6年度）実績】										
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラ	がれき類	石膏ボード	金属くず	珪酸カルシウム	紙くず	混廃	繊維くず	ガラス・コンクリートくず
	全処理委託量	146.05t	12.1t	7.65t	1.64t	5.66t	0.4t	0.84t	2.98t	0.37t	3045.23t
	優良認定処理業者への処理委託量										
	再生利用業者への処理委託量	146.05t	12.1t	7.65t	1.64t	5.66t	0.4t	0.84t	2.98t	0.37t	3045.23t
	認定熱回収業者への処理委託量										
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量										
(これまでに実施した取組) ・委託基準に従い、産業廃棄物処理業者を選定し、契約しています。 ・委託契約書及び、サイン産業廃棄物管理票(マニフェスト)交付を確実にしない適正に内容が記載されているか確認後、5年間保管しています。 ・委託先は、有料認定処理業者を優先的に選定し、インターネットで公表されている産業廃棄物の処理状況を定期的に確認しています。											

【目標】		産業廃棄物の種類									
		木くず	廃プラ	がれき類	石膏ボード	金属くず	珪酸カルシウム	紙くず	混廃	繊維くず	ガラス・コンクリートくず
②計画	全処理委託量	140t	10t	7t	1t	5t	1t	1t	2t	1t	3t
	優良認定処理業者への処理委託量										
	再生利用業者への処理委託量										
	認定熱回収業者への処理委託量										
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量										
		(今後実施する予定の取組) ・現状の取組のとおり今年度も実施予定です。									
※事務処理欄											

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。